



## 第2学期に向けて

かおり幼稚園 かおり Karuna 認定こども園  
体育講師 竹田 哲

まだまだ新型コロナウイルス感染症が心配される中、第2学期が始まりました。かおり Karuna 認定こども園では感染症対策を講じながら春の親子遠足、年長組のお泊り保育、秋の園外保育等、通常の園行事に舵を切り出しました。お泊り保育は園長先生、担任の先生、補助引率の先生方の献身的な保育指導で実施されました。このように園外保育は園児に多くの成長の跡が見られます。筑波山お泊り保育から帰ってきて園庭で挨拶の後、走って母親のもとに抱き着いていく園児もいました。緊張から解放された瞬間でした。お母さんも優しく抱き寄せていました。こども園以外での集団行動は他者との関わりを構築し社会性を育てていくうえで大切な経験になります。

少し古い資料になりますが三つ子の魂百までもといわれています、4歳から5歳児は脳が発育発達し様々な情報を取り込もうと準備が整っています。非認知能力（意欲、計画性、創造性、忍耐力、粘り強さ、協調性、コミュニケーション能力等）を身につけていこうとする行為です。集団行動の中で困難や失敗・挫折などの経験を通して非認知能力が養われます。

スポーツの世界でいうとゴールデンエイジの始まりの時期です。脳で状況を素早く察知しバランスよくスムーズに体を動かす力。（ジャングルジム遊び、木登り等があらゆる運動の土台となるものです。）コーディネーション能力といわれています。

この時期は身体表現だけでなく言葉で表現する事も出来るようになります。幼児期の言葉による自己表現とでもいう事でしょうか。始めは上手く言葉にならない事でも語彙力を増して、身体表現によるコーディネーションとともに言葉によるコミュニケーション能力が向上します。

家庭で、こども園での一日の経験や家族の色々な出来事について話し合ってください。

できれば大人は普段会話している言葉で（子供にとっては難しいかもしれませんが）話してください。見て覚える視解力、聞いて覚える聴解力、読んで覚える読解力等、園児たちはそろそろ準備ができています。家族で共通に話し合うディスカッションや意見の違うディベート等言葉に出して、なるべく言葉を簡略化しないで話し合ってください。

言葉によるコミュニケーションをとることは社会性を身につけるうえで大切な方法です。文部科学省が示した幼児期の終わりまでに育ってほしい「10の姿」

①健康な心と体②自立心③協同性④道徳性・規範意識の芽生え⑤社会生活との関わり  
⑥思考力の芽生え⑦自然との関わり、生命尊重⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚⑨言葉による伝え合い⑩豊かな感性と表現 が示されました。

こども園の保育、学習や体育の授業でも『10の姿』を指針としています。

運動会、お遊戯会等園行事が盛りだくさんです。

園児たちの活躍を楽しみに期待してください。